

## 「7.25 女性の権利デー」宣言

### 女性の権利を国際基準に！ 活かそう 女性差別撤廃条約

今から 36 年前の 1985 年 7 月 25 日、女性差別撤廃条約は、日本において法的効力を発生しました。その日、日本は新しい時代を迎えました。私たちは、これを記念して、7 月 25 日を「女性の権利デー」とすることを、ここに宣言します。

あらゆる差別をなくしジェンダー平等の実現をめざす女性差別撤廃条約は、189 カ国が批准している「世界女性の権利章典」です。この条約は、暮らしや雇用などさまざまな場で一人ひとりが直面するジェンダーにもとづく問題を解決する鍵として、日本の女性たちにも大きな力を与えてきました。

いま、コロナ禍の影響は女性にとってより深刻で、日本社会に根強く残る性差別やジェンダー平等の遅れがあぶり出されています。女性差別撤廃条約と同選択議定書は、こうした女性たちの貧困や困難を解決する道筋を示す頼もしい法的手段です。

日本のジェンダー・ギャップ指数は「156 か国中 120 位」（世界経済フォーラム、2021 年）と最低レベルです。世界のモノサシで見ると、日本が「女性の権利・ジェンダー平等の後進国」であることは明らかです。この現状を打ち破るために、私たちは、毎年 7 月 25 日を「女性の権利デー」として、以下の行動を呼びかけます。

## 一緒に行動しましょう

- ◇ 社会に潜む無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）や差別に気づき、その背景にある要因、不平等な社会の構造や法制度、慣習を見直し、変えていきましょう。
- ◇ 一人ひとりのかけがえのない命と暮らしを守る「私たちの大切なツール」、女性差別撤廃条約を、立法に、司法に、行政に、社会の隅々に活かしていきましょう。
- ◇ 日本がまだ批准していない女性差別撤廃条約選択議定書を批准し、個人通報制度を、私たち一人ひとりのものにしましょう。
- ◇ 世界の潮流から取り残されている日本の社会を変えるため、しなやかに繋がり、対話と連帯の輪を広げていきましょう。
- ◇ 毎年 7 月 25 日を日本における「女性の権利デー」とし、さまざまな行動に取り組みましょう。

2021 年 7 月

女性差別撤廃条約実現アクション  
日本女性差別撤廃条約 NGO ネットワーク  
国際女性の地位協会